

附馬牛児童館の森林教室をお手伝い（6月26日）

早池峰山の麓にある附馬牛地区の児童館の利用者を対象に遠野市が開催予定としていた親子ハイキング「又一の滝へ行こう」は、30分程歩く滝までの遊歩道や小沢に架かった橋の修復状況から、「親子森林教室～散策&木工工作～」に変更することとなったらしい。

遠野支署は“市町村の林政に全面協力しますよ”と、市の担当者に常々申し立てていることから、市からの急な依頼ではあったが、森林教室の散策部分を支署が担当することとなった。

開会に当たっての挨拶では、朝ドラの「おかえりモネ」を紹介しながら、「子どもたちには自然とのふれあいを蓄積していただき、人生の大事な選択の際に、ふるさと遠野を思い出し、環境に優しいとか人に優しいとか人間味のある学問・事業に関わっていただければ何よりです」と大きな期待を込めた。



さて、児童館の裏山の「のぞみの森」を散策開始。

休日で参加できない職員も事前の準備を進めてくれたこともあり、森林の役割、木々の特徴の紹介など順調に進み、折り返し地点まで到着。帰りは手作りの木製スリングショットで、クイズをしながらの散策。

最初は上手く的に当てられなかったが、すぐさま上達し、的からは心地よい音色が聞こえてきた。クイズは上手く解けたかな。

散策後の木工工作は、遠野市職員がデザインした斬新なデザインの本棚作り。ノコギリ、カナヅチを使う本格的な作業は低学年には難しかったけど、大人の協力もありケガ人が出ることも無く、よい経験が出来たのではないかな。

自前で揃えた支署のロゴ入りのポロシャツを着て格好良いこう、と意気込んでいたが、「ポロシャツいいね」とは言われなかったのが残念。

それはさておき、裏山に手頃な散策路があるこの環境が羨ましいと思うのは都会暮らしが抜けていない私だけで、皆にとっては当たり前なんだろうな。

みなさんお疲れ様でした。

支署長 山田 亨